

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 8-1-1	事務事業名 西原自然公園植生管理事業	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
----------------	-----------------------	--------------------------

施策コード 環1-1	施策名 みどりの保全・活用	施策目標 市民による公園管理のしくみや、個人が所有する農地や樹木、樹林、生垣などを維持するしくみを整え、身近なみどりの保全・活用をめざします。
---------------	------------------	--

事務事業の概要	<b>事務事業の目的</b>	環境にやさしいまちづくりの取り組みである「みどりの保全・活用」の一環として、市内でも数少ない貴重な樹林を有する西原自然公園において、樹林の再生を目的とする更新作業などを行い、主林木であるクヌギやコナラの成長等を促すため、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働で植生管理を行う。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	<b>事業内容・実施方法等／補助の概要</b>	補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する		
		更新区域約2万㎡を20年かけ1年に千㎡の割合で面的に伐採を行い、伐採材は市民に無料配布し有効利用している。市民公募による植栽作業の参加呼びかけをし、苗木(クヌギ・コナラ)の植栽を行っており、伐採については、市と協力会員が現地精査を行った後、業者に委託している。 また、毎月1回、月初めに協力会員が枯れ枝や草刈り等の公園内整備を行っている。 (公園維持管理費(西原自然公園植生管理委託料))		
<b>事業開始時期</b>		平成16年度	<b>実施形態</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(公園管理協力員)

項目		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費 データ	事業費(A)		2,512	2,520	2,562	1,260
	財源内訳	千円				
	国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他( )		0	0	63	39
一般財源	2,512	2,520	2,499	1,221		
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	808	817	770	823	
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0	
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	3,320	3,337	3,332	2,083	
単位当たりコスト (E)=(D)/(単年度整備面積)	千円	3	3	3	0	

活動等指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 単年度整備面積	実績値	㎡	1,000	1,000	1,000	
② 累計面積	実績値	㎡	7,000	8,000	9,000	
《指標の説明・数値変化の理由 など》						
成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 更新整備の進捗率	目標値	%	35	40	45	50
	実績値	%	35	40	45	
二 ボランティアの人数	目標値	人	40	40	40	40
	実績値	人	40	40	36	
《指標の説明・数値変化の理由 など》						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	ボランティア会議において、ボランティア会員の高齢化による後継者問題が指摘されている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	西原自然公園を育成する会の活動が第48回東京都公園協会賞のボランティア部門の最優秀賞を受賞(平成25年5月11日)した。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 8-1-1	事務事業名 西原自然公園植生管理事業	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
----------------	--------------------	--------------------------

施策コード 環1-1	施策名 みどりの保全・活用	施策目標 市民による公園管理のしくみや、個人が所有する農地や樹木、樹林、生垣などを維持するしくみを整え、身近なみどりの保全・活用をめざします。
---------------	------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>みどりの保全・活用の一環として、市内でも数少ない貴重な樹林を有する西原自然公園において、樹林の再生を目的とする更新作業を、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働で植生管理を行なっている。</p> <p>平成12年に萌芽更新のテストを行った結果、50年以上の樹の萌芽については、難しいと判断し、平成16年度から、毎年、1000㎡ずつ列状に伐採し、苗の植栽を行ない更新を行なってきたが、今後、針葉樹が多く植生する区域の管理を行なうにあたり、伐採する樹木の選定や作業車両の搬入のために、園路の拡幅工事を含む、公園全体の管理方法の見直しが必要となってきた。</p> <p>ボランティアの活動は自主的・主体的に行われており、イベントの企画もボランティア団体によって行われている。下草刈り等のイベントを市民や隣接する学校とともに行なうことによって、市民意識の拡充に向けたPRを行なっている。また、ボランティア会員の高齢化による後継者問題があるため、イベントに参加者に活動に興味を持ってもらうよう努めている。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>2万㎡の樹林を毎年1千㎡ずつ20年かけて面的に伐採、植栽を行う事業であるが、今年度は節目の10年目となることから、西原自然公園全体の測量をして、残された区域における、伐採する樹木の種類などの課題整理の必要がある。</p> <p>また、今後も継続的な維持管理を行う上では、高齢化・固定化しているボランティア会員の確保が必要であり、近隣の住民や学校等との更なる連携に努めていく必要がある。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、西原自然公園において植生管理を行い、主林木の健全な生育を促すものであり、みどりの保全のみならず、市民団体との協働による取組であるという点でも意義のあるものと認められる。</p> <p>ただし、今後の事業実施にあたっては、二次評価において指摘のとおり、残された区域での伐採を行う上での課題を十分整理するとともに、後継者確保が課題となっているボランティア会員の確保については、近隣住民・学校等との連携強化を図り、ボランティア会員確保に努められたい。</p>